

小牧市では、東部振興構想を策定し、その一環として地域の担い手を育てる「人と人がつながるプロジェクト」に取り組んでおり、今年で5年目を迎えます。

東部地域の未来に向けて、「今から!これから!」行動を起こすことを大切にしながら、全3回のトーク&ワークショップを実施しています。

本通信では、4月に開催した第2回ワークショップの様子をお届けします。



第2回 ワorkshopテーマ
行動力こそ地域を変える力
—あったらいいな—

ワークショップ スケジュール

第1回

テーマ：コミュニティーの知恵袋
日時：3月22日(日) 10:00-12:15
会場：東部市民センター
ワークショップ：課題と展望



第2回

テーマ：行動こそ地域を変える力
日時：4月19日(日) 10:00-12:15
会場：東部市民センター
ワークショップ：あったらいいな

第3回

テーマ：私からはじまるまち育て
日時：5月17日(日) 10:00-12:15
会場：東部市民センター
ワークショップ：やってみよう

概要

当日は、市民やサポーター、行政職員など約30名が参加しました。

「行動力こそ地域を変える力」と題した2名の講師によるトークの後、参加者はグループに分かれ、東部地域に「あったらいいな」と思う活動や拠点、仕組みなどについて意見を交わしました。

グループワークでは、「多世代が集まれる居場所」「学校跡地の活用」「多文化交流」「地域情報の発信」など、さまざまなアイデアや課題が挙げられ、最後に各グループでの話し合いの内容を全体で共有しました。

また、参加者一人ひとりが、「こんな活動をしたい」「こんな活動なら応援したい」といった、自分なりの地域との関わり方を宣言し、ワークショップを締めくくりました。

ワークショップの運営体制について

本ワークショップは、市民の皆さん、小牧市、サポーターが協働して進めます。

全体の進行は、「NPO法人 まちの縁側育くみ隊」と「NPO法人10人村」が担当しています。

また、これまで「東部地域トライアル活動」に取り組んできたメンバーが、先輩としての経験を生かし、各グループの話し合いをサポートするファシリテーター役を担っています。



当日の流れ

1 あいさつ



室長
(小牧市都市政策部 東部まちづくり推進室)



2 第1回の内容を ふりかえりました

3 講師から話題提供がありました



治郎丸さん



平山さん

第1回の話し合いの成果や
講師のお話をヒントに、
東部地域の“あったらいいな”
を話し合いました!



4 グループワーク



5 各グループの話し合い内容を 発表し、全体で共有しました。



6 プラカード発表



「こんな活動をしたい」
「こんな活動なら応援したい」
といった自分なりの
関わり方を宣言しました。

話題提供

コミュニティの知恵袋

1

足元の福祉が地域全体の笑顔につながる学校活用のかたち
治郎丸慶子さん（社会福祉法人まちスウィング）

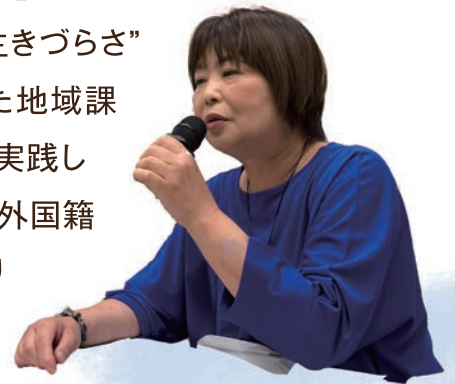


「ノキシタプレイス」の宵祭りの様子

春日井市高蔵寺ニュータウンの廃校を活用した「グルッポふじとう」や「ノキシタプレイス」の取組について、構想段階から市民として提案し、現在の運営の様子に至るまでが紹介されました。講演では、市が掲げる「多世代交流」だけでは

拾いきれない、“孤独”“生きづらさ”

“居場所のなさ”といった地域課題に対し、市民側からゆるやかにつながれる場や仕組みを提案・実践してきた経緯が語られました。子どもから高齢者、障がいのある方、外国籍住民まで、多様な人が自然に混ざり合える「ごちゃまぜ」の場づくりを通して、地域コミュニティの新たな可能性が示されました。



2

お風呂で!?取り組む地域課題解決
平山貴英さん（天然温泉こまき楽の湯）

④-1 銭湯から地域の課題を解決する取り組み



紹介のあった取り組みの一部

スーパー銭湯「こまき楽の湯」を運営する平山さんからは、「お風呂で地域を沸かす」をテーマに、銭湯を地域課題解決の拠点として再定義する取組が紹介されました。講演では、コロナ禍をきっかけに、単なる入浴施設ではなく、人と地域をつなぐ“地域のインフラ”としての役割を見直した経緯が語られました。

地元農産物や企業との連携企画、若者支援、学びの場づくりなど、多様な取組を通して、銭湯を核に地域の魅力やつながりを生み出していく実践が紹介されました。



東部地域の「あったらいいな」

グループワークでは、第1回の話し合いの成果や講師のお話をヒントにしながら、東部地域に「あったらいいな」と思う活動や拠点、仕組みなどについて意見を交わしました。参加者は4つのグループに分かれ、それぞれの意見を模造紙にまとめ、発表しました。本資料では、全体像を把握できるよう、各グループの意見を統合・整理して掲載しています。

講師の話題提供からの気づき

治郎丸さんのお話

- ・福祉とのつながりが素晴らしい
- ・みんな（全ての人）で参加することが一番大切
- ・高蔵寺の課題発見力、数値化する力がすごい
- ・市、行政との交渉力がすごい
- ・カフェもステキで、行きたくなる設え
- ・人が住みたくなるような場を作っている

平山さんのお話

- ・行動力。形にする力
- ・まちづくりの活動にはアイデアが大事
- ・コラボする力、着想（ダジャレのセンス）がすごい
- ・熱量がすごい。平山さんの熱量の源泉は何！？

全体を通して

- ・人任せにするのではなく、自分から動き始めるのが大事
- ・本当の意味での「みんな」をちゃんと考える
- ・やることそれぞれが仕掛けとして機能していること
- ・巻き込まれた地域の人にも役割があることで拡大していく
- ・気軽に行けて、1日ゆっくり出来る場所が必要
- ・様々な人材が居るからこそ、繋がりを作る

東部地域の「あったらいいな」

1 活動拠点づくり

凡例：● 課題 ● あったらいいな ● 参考

- 拠点が必要
- 安心して過ごせる場所が少ない
- 学校跡地、オアシス、農業公園など、主要となる拠点をどうするかの議論をするべきではないだろうか
- 魅力あるSPOTがないわけではないが、分散しているし運動もしていない
- 月一マルシェ & 居場所づくり
- 移民コミュニティが作れる場所
- 違いをこえてつながる居場所
- 子どもも大人も安心して集まれる場
- ふらっと立ち寄れる居場所づくり(定期開催)
- やっぱり学校跡地は活用したい
- ピーチライナーの西駅・中央駅・東駅・駐機場の跡地は活用できる
- 温水プール無くなるのであれば、銭湯に！
- 球技系のスポーツがちゃんとできる場所が欲しい(サッカーとか野球は禁止の公園もある)
- 既存の箱物に多世代が集まるような仕掛けづくり

2 学校活用の推進

- 学校中心の学びが主になっている
- 地域と学校・企業の連携が弱い
- 退職エンジニアの今と学校と子どものつながり、継承
- 大城小跡をグルッポふじとうにすると良い。
- ありがとう大城小学校マルシェ

3 多文化共生の取組み

- 多世代・多文化で関わる機会が少ない
- 違い(文化・価値観・立場)を受け入れる機会が少ない
- 多文化多世代交流マルシェ
- エンパナーダ、ブラジル食文化多文化交流
- 外国籍パーティー！コミュニティに来て！
- 多文化の中で共に生きる環境
- 多世代・多文化が交わるイベントの開催
- 想いが循環するあたたかい地域 違いを受け入れ合える

5 地域資源の活用

- ハードとソフトの両方の知見？
- トレッキング(ネイチャー観光)
- 東部地域のものづくり会社、オープン、ファクトリー企画したい！
- 東部桃花台の企業とのコラボしながら、グルテンフリーのパンやお菓子、こだわりの調味料、地域の野菜などを使ったお弁当やランチの、マルシェを企画したい。

4 多世代・多様な学びの場づくり

- 学びの選択肢が限られている
- 子ども～高齢者までが、無理なくつながれる居場所があると良い
- 職歴や経験、好きなこと、得意を活かせる場があると良い
- 多世代の多様な学びの場
- 学びは自由に、人も思いもめぐり、
- 学校にとられない学びの選択肢
- 学校外の学び(体験・ワークショップ)の充実
- 文化的な活動を！
- 昭和レトロ文化祭をやりたい

6 子どもを中心とした場づくり

- 若者を参加させる仕掛けは？
- 子どもを中心に
- 若者主導のまちづくり実現のための、協賛のしくみなどがあると良い

7 地域情報の見える化

- 課題に見える化
- 情報発信や交流が一部にとどまっている
- ピアールレの活用。市役所などにパンフがあっても目にする機会もない
- 地域情報の見える化
- 「あったらいいな」の声の見える場所と仕組み
- 情報を一覧で見られる
- まちづくり情報発信戦略が有ると良い
宣伝の場所、方法、メディアは何を使用しているか？
知りたい
- 情報発信(SNS・地域メディア)の強化
- 情報発信をもっとしていくべき

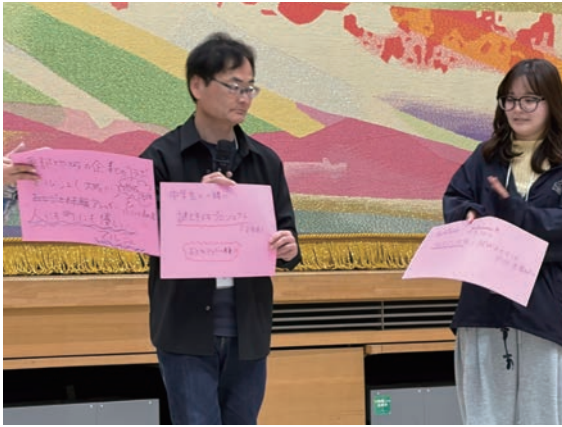
8 つながりやすい仕組みづくり

- 地域とのつながり方、企業連携の方法などにハードルを感じている人いる。
- 学校や地域でのつながりが限定的
- 人とのつながりが分断されやすい
- 誰かに頼る・相談するハードルが高い
- 地域活動グループ同士の横の連携が希薄なので、つながれると良い
- 地域活動メンバーを募る場所が欲しい
- つながりたい、貢献したい人がわかる仕組み
- LINE グループ東部まちづくりプラットフォームはあるが、一方通行でない、わいわいできるオープンチャットが欲しい。
- 普通の地域の人とのつながり
人・地域・企業がゆるやかにつながる
地域・企業とのゆるやかな連携づくり
高齢者へのボランティア経験から、まちづくりに少し関心がわき参加した

9 企業や行政、学校、他地域など多様な連携を

- 地域と学校・企業の連携が弱い
- 農業公園の事業の住民説明をもっとしてほしい
- 企業とのマッチング
- ドンキ、桃花台センターの協力欲しい。
- 小牧以外のまち(春日井や名古屋など)との連携があっても良い
- ハブ人材をあぶり出す

「発表の様子」



A グループ

「やってみたい」を持ち寄りながら、
多文化・企業・地域資源が
ゆるやかにつながるまちへ

B グループ



”情熱”と”行動”+やさしさ

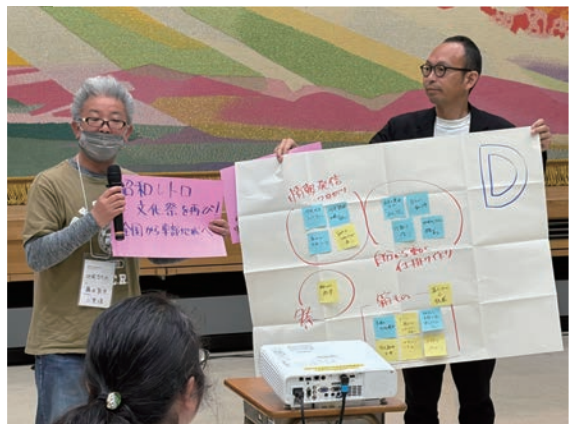


C グループ

「今を楽しく生きる」を土台に、
多様な学びとつながりの中で違いを
こえて共に育つ地域へ

D グループ

学校跡地や農業公園など具
体的に地域資源を活かしな
がら居場所を育もう



各グループ発表の後半は、参加者一人ひとりが、
「こんな活動をしたい」「こんな活動なら応援したい」といった、
自分なりの地域との関わり方を宣言しました。

[ピンクカード:こんな活動をしたい / ブルーカード:こんな活動なら応援したい]



人にも町にも
やさしいマルシェ

つきいちランチ居
場所 (リユースバ
スケット)

多文化共生に関わ
るイベントメン
バーを集めたい

取材して伝えたい
つなげたい応援し
たい

空家 ×DIY—地域
の居場所をみんな
でつくる

エンジニア経験を
子ども体験の場づ
くりにながす

OPEN Factory—
親子で会社に工場
体験しよう企画

東部の「らしさ」
生かすこと

地域同士をつなぐ
(小牧—春日井—
一宮)

中学生と一緒に謎
ときメキプロジェ
クト

若者が考える“ま
ちづくり”コンペ
ティション開催

地域課題フォーラ
ム

昭和レトロ文化祭
を再び!—全国か
ら東部地域へ

子ども主体のイベ
ントなら応援した
い

情報を発信したい
団体・個人を応援
したい—どんな活
動でもOK

観光トレッキング
(orトレラン)やっ
てくれたら嬉しい

高齢世帯の生活を
守る

地域を考えるわいわいできるオープン
チャット (東部まちづくりプラットフォームの発展形) があればうれしい

良きフロー(に)!

イベント・バリア
フリーイベント

普通の地域の人と
のつながり

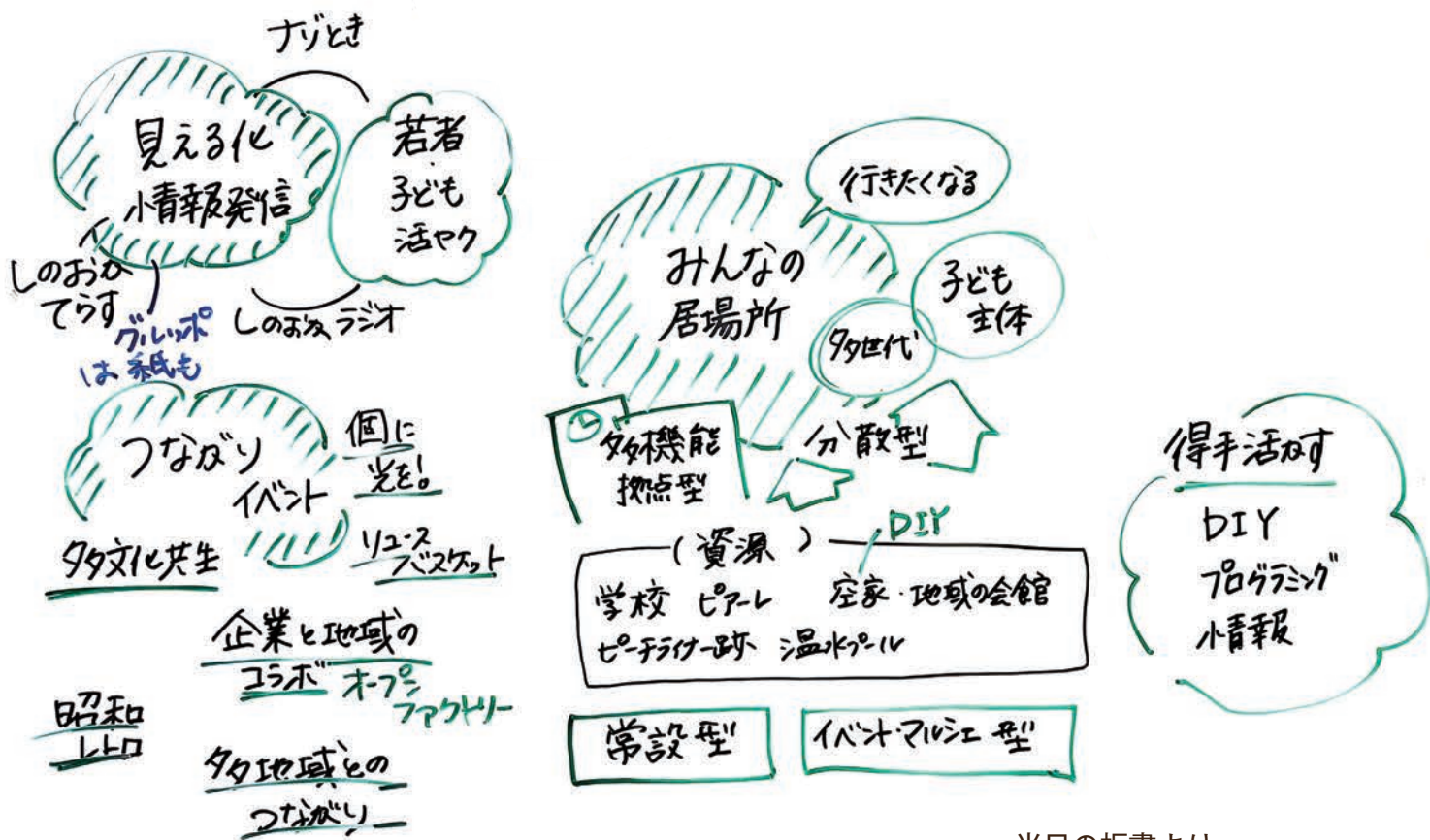
東部に人が集まる
仕掛けのお手伝い
させてください

子ども、子育て世
帯向けの活動



まとめ

ファシリテーターの名畑さんから、
本日出た大事な意見について振り返りがありました。



当日の板書より

アンケート

- ・もう少し時間が欲しいと感じるほど楽しかった
- ・意見を言うだけでなく、行動をしないといけない
- ・取材、つなぐ、応援する関わり方をしたい
- ・全員で交流できる時間もあると嬉しいです
- ・治郎丸さん（ぐるっぽ）は桃花台の先駆けだなと思ったのでできて良かったです
- ・時間が足りないと感じました
- ・地域住民だけでなく企業とつながる仕組み
- ・参加者のみなさんの情熱がすばらしかった

